30. 7. 1　税理士会鎌倉支部報　第72号 (1)

東京地方税理士会鎌倉支部報

かまくら

第 72 号

平成30年7月1日

(加事務一部元会員番)

発行人　支部長　浜多辺必明
編集人　広報部長　宮芳　孝

発行所　東京地方税理士会鎌倉支部　〒248-0021　鎌倉市扇ガ谷1－8－9　☎0467－25－5220

印刷所　秋大合社　横浜

蓮の花、扇が谷にて
機部員良会員　撮影

定期総会号　主な目次

第32回定期総会開催……浜多辺浜明……2～5
定期総会における支部長挨拶……6～7
歴代支部長銘板……7
定期総会来賓祝辞……鎌倉税務署長／本会会長……8～10
鎌倉税務署長から「感謝のことば」贈呈式……10
鎌倉税務署長から一言……11
業務戦線：★思い出来ごと？★……田村精孫……12～13
ふれあいマーケットin湘南……酒井博子……13
湘南八支部連絡協議会……浜多辺浜明……14
租税教育
明治安田生命保険租税教室……木村真紀……15
鎌倉女子大教育学部アクティブラーニング……松本理美……15～16
租税教室の初主講師……大場尚之……16～17
湘南信用金庫新入社員に参加して……小林稔二……17～18
第14回協同組合春季ゴルフ大会……千田和弘……18
第7回関東テニス大会……菅藤元司……19
私の旅……矢野医子……20～21
目指りバス旅行から今年度を見つめて……多田雅也……21～22
各部だより……22～25
会員の動向……25
新入会員自己紹介……26

租税教室の初主講師

大場尚之

平成30年1月18日に御成小学校にて、初めての租税教室の主講師を務めさせて頂きました。御成小学校は私の母校であるため、このような形で母校の役に立てたことは、私にとって何より喜ばしいことであり、そしてまた、少し誇らしいことでもありました。税理士が、自身のスキルアップのために日々学び続けることは当然のことですが、私自身が、今も学び続けていられるのは、同校で、私が教えを請うた先生方のお陰により、学ぶことの大切さ、楽しさを教えて貰ったからなのではないかと思っています。

では、本題の「租税教室の初主講師」を務めての感想ですが、私が記憶している限り、自身の在学中には、租税教室という形で外部の方が講師として学校を訪問し、「税金や税金の使われ方について学ぶ。」という趣旨の授業は無かったように思います。それ故、授業前には、「内容について、今回の租税教室の対象学年である小学校6年生である生徒の皆さんに、どのように伝えれば、少しでも記憶に留めて貰えるか。」について腐心しました。自身の小学校6年生の頃を振り返ると、「税金について考えた。」という記憶は全くなく、もっと言えば、税金というものがどのようなものであるか、全く理解出来ていなかったと思います。その頃の唯一の税金に関する記憶は、春頃に母が何かの用紙を見ながらため息をつき、「今年もコテーシサンゼー高いわ。」という台詞です。母がため息をついていた理由を理解出来たのは、それから数年後のことであり、「コテーシサンゼー＝固定資産税」と認識出来たのは、それから更に数年後のことでした。でも、なぜか「コテーシサンゼー」という言葉の音の響きが好きで、ずっと頭の中に残っていました。自身の小学校6年生頃の税金に関する思い出がその程度しかないため、当時の自分自身の状況や環境を必死に思い出すこととしました。

小学校6年生頃の自分自身…、まず思い出したことは、「毎日野球をやって、夜は毎晩欠かさずナイター中継を見ている自分」はい、想像通り、どうでもよい記憶から、まずは蘇って来ました。余計な思い出を振り払いながら徐々に記憶を辿って行くと、やっと小学校の教室の風景に辿り着きました。そこで思い出されたのは、「教室の壁には沢山の掲示物が張り出されており、黒板の上には縄文時代から戦後までの年表が貼られていました。ただ、なぜか“大化の改新”と“鎌倉幕府の成立”、“関ヶ原の戦い”、“明治政府の樹立”の4つだけが太字で書かれていました。そのことについて何となく思い浮かべていると、以前に「税」とは、原則としてお金で納めるようになってから使われるようになった用語であることを思い出しました。そして日本では、明治新政府により実施された地租改正により、地租も初めてお金で納付することになったことを思い出しました。そして弥生時代から平安初期までは、租・庸・調という名称で呼ばれ、それらは当然にお金ではなく、稲・労働・繊維製品で納め、鎌倉時代においては、ご恩と奉公の主従関係で結ばれた鎌倉殿と御家人は軍役と公事で納め、江戸時代には、よく知られているように年貢という名称のお米で納めていたことを思い出しました。「もしや、あの4つの太字箇所は、納付方法における時代のターニングポイントを記した箇所か⁉」と思いましたが、「まあ、それはちょっと考え過ぎかな。」と思い直しました（笑）。ただ、それらが日本史における大きな時代の転換点を記したものであることは間違いなさそうです。

このようにして、講義の中で「税」もしくは「税金」という台詞が出た際には「それらは、みんなが社会科の授業で勉強したアレだよ。」というような具合で生徒さんたちには伝えさせて頂きました。生徒さんの中には、その表現により、却ってわかりにくくなってしまった子もいるかもしれません。ただ、御成小学校の先輩として、何とか生徒の皆さんに、「税金について学ぶことの出来るこの機会を有意義なものにして欲しい。」との思いが強すぎたためです。それ故、大目に見て頂ければ幸いです。とても楽しい初主講師体験でした。